

Injury Alert (傷害速報)類似事例

金属片を内蔵した加熱式タバコに誤飲によるニコチン中毒

(No.121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物の類似事例 10) ㊦

事例	基本情報	年齢：0 歳 9 か月 性別：女児 体重：8.1kg 身長：70.2cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	在胎 38 週 5 日、出生体重 3,112g、寝返りやずりばい可
臨床診断名		タバコ誤飲、ニコチン中毒
医 療 費		入院 175,820 円 外来 3,600 円
原因 対象	対象名称	加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック
	入手経路 使用状況	不明
発 生 状 況	発生場所	自宅の居間。加熱式たばこはゴミ箱に捨ててあった。
	周囲の人 周囲の環境	加熱式たばこは使用後にゴミ箱に捨てていた。母と 2 人のときに発生。
	発生年月日	2025 年 4 月 X 日 (金) 午前 7 時 50 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	X 日朝 7 時 50 分頃に、使用後ゴミ箱に捨てていた加熱式たばこを児が食べていることに母が気づいた。気づいた時には半分くらい食べていた。母が慌てて口の中に残っている分をかきだして、全部かきだせたと思ったのですぐにミルクを哺乳させた。普段通りの量を全量哺乳後に遊んでいたが、徐々に口唇色不良となり横にしたら大量に嘔吐した。嘔吐物にはたばこの葉の部分が混じっていた。医療機関 A に連絡し受診し、2 回目の嘔吐があった。金属片はまだ出てきておらず、顔色不良も持続しており、医療機関 B に紹介受診となった。

医療機関受診時 以降の治療経過 転帰	10 時すぎに医療機関 B に来院。到着時、バイタルサインに異常はなかったが、GCS E4V4M6 で活気なくウトウトしていた。誤飲後すぐミルクを哺乳させたことによりニコチン吸収が進んだ可能性がある判断し、静脈路を確保し、活性炭 8g を胃管より投与した。静脈路確保の前後で SpO₂ 90%前後と低下したため、酸素投与を行った。胸腹部 X 線検査（図）では金属片は小腸内に位置すると判断した。活性炭を投与した後、顔色不良は改善し、酸素も中止でき、意識も改善した。経過観察目的で入院、経過良好で X+1 日退院した。X+3 日再診時に腹部 X 線を撮像し金属片の排出を確認した。
キーワード	加熱式タバコ誤飲、ミルク、ニコチン中毒



【図】胸腹部 X 線写真 金属片を点線○で囲んでいる